

一般入試前期B日程

英語

I

■出題のねらい

食事や運動など健康に関する友人同士の会話です。食事の話題から、運動の話題へ、さらにスポーツジムの話題へと移っていきます。□1の適切な助動詞を問う問題ですが、入らないものを選ぶ問題なので、難易度はやや高いです。その他は内容を問う問題になっていますので、会話の流れを正確に掴みながら、会話の内容に合うもの、合わないもの、会話のなされている場所を見つけましょう。

■採点講評

正答率が最も低かったのが英問英答の□4で、選択肢には本文に出てくる語を盛り込んだフレーズが採用されています。質問が“NOT true”のものを選択肢より選べという問題だったため、本文に述べられている文章に引きずられて正答できなかった受験者が多かったと考えられます。述べられていない文章を選ぶ問題の場合、難易度が高くなりますので、速読力を鍛えて選択肢の内容と本文を対照して読む訓練をしましょう。

II

■出題のねらい

ある大学のホームページ上でのオープンキャンパスのお知らせです。いつ行われるのかといった情報や、キャンパスの特徴やオープンキャンパスでの目玉となるイベントなどが書かれています。項目ごとに注意深く読むようにしましょう。問題は、同意語を問う問題の他は、内容読解問題となっています。本文と選択肢の内容を照らし合わせて慎重に解答しましょう。同じことを別の表現で言い換えてある場合が多いので、語彙力が必要です。

■採点講評

設問Iと同様“NOT true”を選ぶ問題□10の正答率が低かったです。オープンキャンパスに参加する訪問学生は寮に宿泊できるのですが、宿泊可であるのは学生のみで、保護者は宿泊できません。よって、選択肢3番の「全員が寮に宿泊できる」というのは誤りとなります。次に正答率が低かったのは□6ですが、situated「位置している」はpositionedと同義です。situation, position から「位置、場所」の意味を推測できるかどうか重要です。

III

■出題のねらい

「アメリカにおけるボトルドウォーター（容器入り飲料水）」が話題のレポートです。第一段落では、ボトルドウォーターがどのように品質管理されていて、アメリカで最も人気な飲料となっているかについて述べられています。第二段落では、その人気の度合いについて、統計を用いて説明されています。全体的に素直な問題となっています。表に関連した英文の説明部分を正確に読めているかを問う問題です。挙がっている数字の値に振り回されるのではなく、2年連続で消費量が落ちたというところに注目すれば、単にプラス成長か、マイナス成長かを問うている問題だと理解できます。

(注) 14 は設問に誤りがあり、受験者全員を正解としました。本稿には修正版を掲載しています。

■採点講評

最も正答率が低かったのは、12 でした。「ボトルドウォーターの一人当たり消費量が2011年には、その（2008年と2009年の）減少前の状態に見事戻った」という意味になりますが、注意深く読めば定冠詞 **the** があるので、前述されていることを指すと理解できます。直前に言及されているのが、「2008年と2009年の2年を除いて、アメリカではボトルドウォーターの市場が過去40年間で毎年成長してきた」ということですので、「～以前」とは **growths, increases** ではなく、**declines** 「減少」が正答と判断できます。関係副詞 **where** の節があるなど、難易度の高い問題でした。

IV

■出題のねらい

昨今の急激な観光客の増加の問題に関連し、観光地の地元住民や地方自治体や政府の取り組みについてとりあげた英字新聞記事からの抜粋です。筆者は観光客が増えることは手放しに喜べるものではなく、色々問題があるという立場で記事を書いているということを押さえて、各々の立場や取り組みを理解しながら読んでいくことが正確な理解につながります。単語や語彙で難解なものがあっても、筆者の立場を理解しながら読むと、前後の文脈から容易に意味を理解することができます。この長文では、細部の情報の把握と同時に、「筆者の立場の理解」という全体の流れを把握しておくことが重要です。

■採点講評

長文問題では、最初の3問中3つ目 18 のマークの塗り忘れのミスが目立ちました。塗り

忘れにはくれぐれも注意しましょう。文章が長いので、要点を押さえながら読むのに体力が必要です。したがって、後半の [22] ~ [26] の正答率は落ちています。正答を導き出すコツは、設問中にある「国土交通省や鎌倉市」の試み、「鎌倉で自営業をしている66歳の女性の意見」といったヒントを手がかりに、どこにその情報があるのかを見極めて、選択肢と対照させて読むことができるかどうかです。普段より長文に慣れ、速読力を養い、効率良く文章を読む訓練をおきましょう。

V

■出題のねらい

今話題のマイクロプラスチックの問題がテーマです。並び替え問題は、by ~ ing や分詞、provide 人 with 物といった熟語がポイントとなります。論の流れを掴むには、それぞれのパラグラフの最初の文をよく読み、パラグラフのテーマを掴んでおくと、語を並び替えるのは難しくありません。 [30] を解く時間はあまりないかも知れませんが、 [27] ~ [29] を解く際にしっかり読んでおくと時間短縮になります。

■採点講評

[28] の正答率が低かったです。~ ing 形の単語が3つ選択肢に入っているため難しい問題となっています。但し、選択肢に“an”があるので、必然的に母音で始まる語の“increasing”は使用する語となりますので、選択肢3番ではないということが分かるかどうかが鍵となります。また情報を正確に把握しながら読んでいけば、受験者がよく知る“depending”が不要語であることが理解できたでしょう。よく知っている熟語であっても文章をよく読んで間違えないようにしましょう。